



2023年3月期 第3四半期 補足説明資料

－目次－

1. 会社概要P1-3
2. 決算概要P4
3. 連結損益の状況P5-6
4. 連結貸借対照表の状況P7
5. 2023年3月期の業績予想・配当予想P8

1. 会社概要



社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,449名（連結）
<small>※2022年3月31日現在</small>	1,252名（単体）
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡

無垢No1
木質総合建材メーカー



(海外拠点)



フィリピン工場



インドネシア工場



一貫生産体制

原材料の
確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

ニューージーランドで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

端材でバイオマス発電も

(持続可能な森林経営)

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

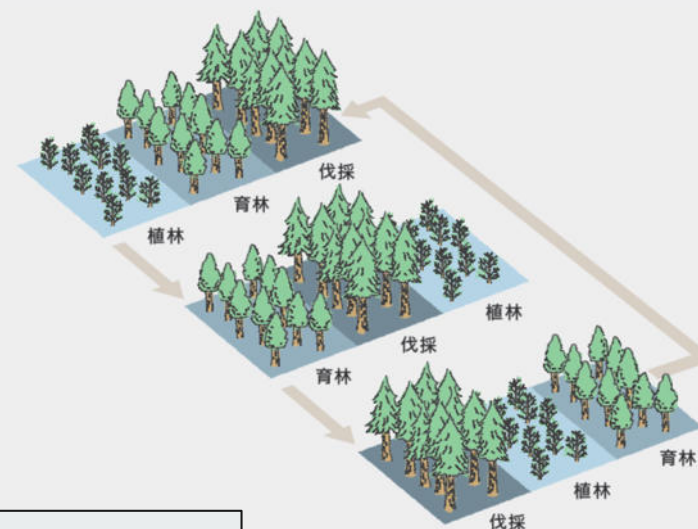
その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。



30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



GHG排出量	単位	2021年度 連結
CO2吸収量・固定化量		
CO2吸収量 ※1	t-CO2	700,000
CO2固定化量 ※2	t-CO2	145,000
排出量		
Scope 1(連結)	t-CO2	5,129
Scope 2(連結)	t-CO2	21,650
合計(Scope1+Scope2)	t-CO2	26,779

2023年1月20日に新たに発行したサステナビリティレポートから抜粋

※1 CO₂吸収量=植林面積×年間平均生長量×(1-生材含水率)×炭素含有率×CO₂換算係数
 ※2 CO₂固定化量=植林面積×年間平均生長量×ラジアータパイン材密度×炭素含有率×CO₂換算係数

2. 決算概要



前期比 +2.7%



同 △33.8%



同 △49.4%



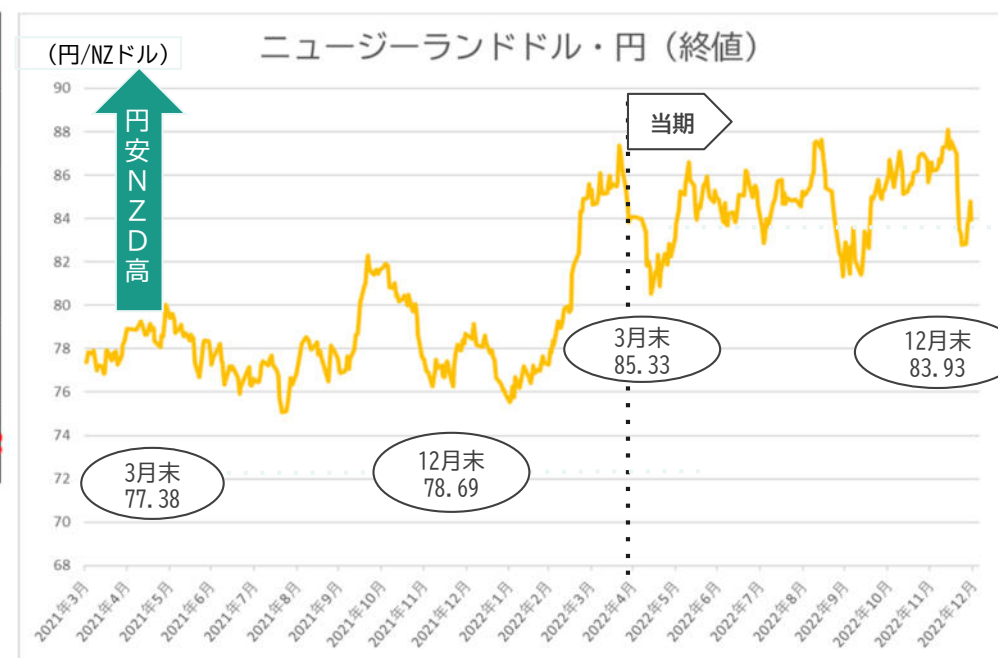
同 △53.6%

(第3四半期の経営環境)

【新設住宅着工戸数(持家+分譲戸建)推移】

(数量単位:千戸)

	持家+分譲戸建			持家		分譲戸建	
	戸数	前年比	増減率	戸数	前年比	戸数	前年比
2022年1~3月	93	98.7%	△ 1.3%	58	93.1%	35	109.5%
2022年4~6月	103	95.0%	△ 5.0%	66	91.1%	37	102.8%
2022年7~9月	104	92.6%	△ 7.4%	67	87.2%	37	104.4%
2022年10~12月	100	88.9%	△ 11.1%	63	84.3%	37	98.1%

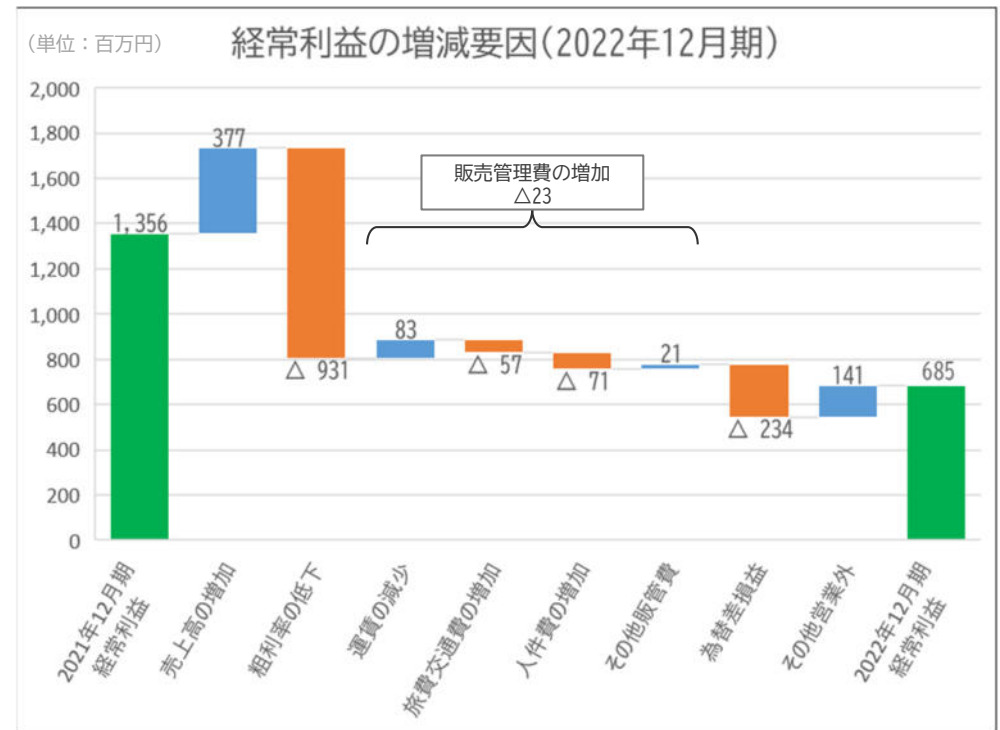


3. 連結損益の状況

- 住宅着工数減少により国内売上が減少したものの、価格改定効果や円安の追い風もあり売上高は増加。原材料費や電気代の高騰・高止まりで粗利率が低下する中、販管費の抑制に努めたものの、営業利益は前期比減少。
- 営業利益の減少に伴い、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前期比減少。

(単位：百万円)

	2021年 12月期	2022年 12月期	前期比 増減
売上高	48,854	50,187	1,332
売上総利益	14,295	13,741	△554
売上総利益率 (粗利率)	29.3%	27.4%	△1.9%
販売管理費	12,585	12,609	23
販管費比率	25.8%	25.1%	△0.7%
営業利益	1,710	1,132	△577
経常利益	1,356	685	△670
親会社株主に帰属する四 半期純利益	755	350	△404



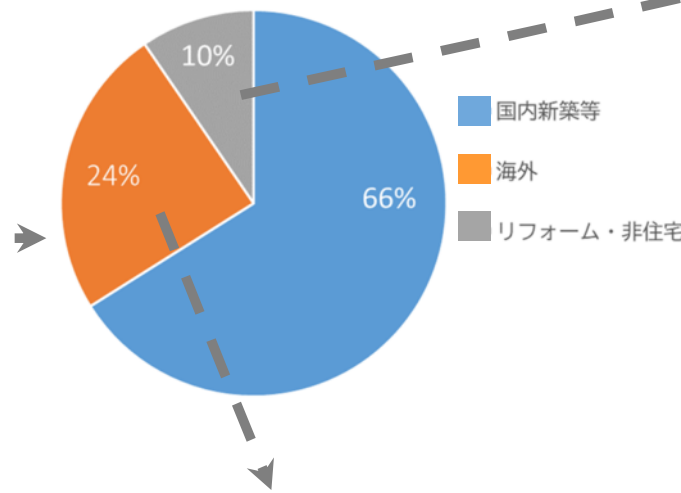
(セグメント情報)

- 住宅建材設備事業における、海外売上（ニュージーランド・インドネシア子会社の外販）は円安の追い風もあり増加。リフォーム・非住宅の売上は2年連続上昇。
セグメントの売上高は上昇するもコストアップとの差が詰まってきた状況。
- バイオマス発電事業は、電気事業者から「出力制御」が行われたことや、燃料代高騰に加え、間伐材等由来の未利用材の割合が減少して売電単価が下がったこともあり、売上、営業利益ともに減少。

(単位：百万円)

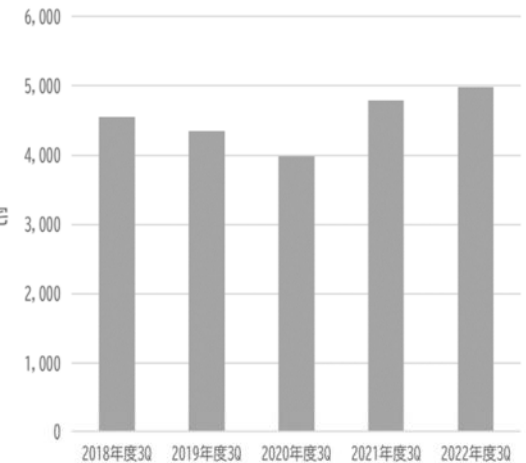
	2021年 12月期	2022年 12月期	前期比 増減
売上高	48,854	50,187	1,332
住宅建材設備事業	47,995	49,364	1,369
発電事業	892	853	△38
営業利益	1,710	1,132	△577
住宅建材設備事業	1,539	1,032	△506
発電事業	171	100	△70

<売上高 | 住宅建材設備事業の内訳>

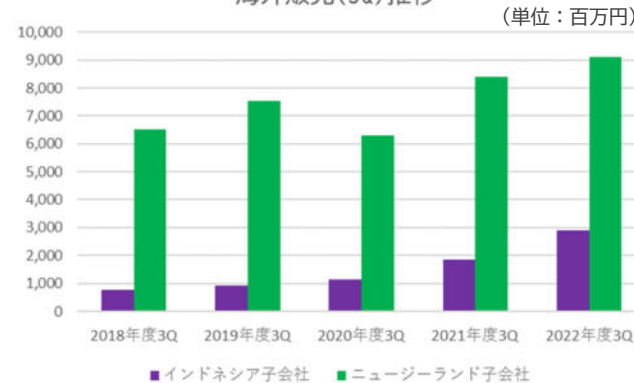


(単位：百万円)

国内 リフォーム非住宅販売(3Q)推移



海外販売(3Q)推移



<発電事業 FIT買取価格> ※

木質チップ種類	単価/1kw
未利用材	32円
一般木材	24円
建築廃材	13円

※規模や調達方法毎に異なる

4. 連結貸借対照表の状況

- 商品の安定供給に向けた原材料の調達や、仕入単価高騰により棚卸資産が増加。
- 増加運転資金の調達により有利子負債が増加。

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2022年 12月期	増 減	主な増減要因	
				為替影響除き	
流動資産	27,584	29,431	+1,847	+1,315	←商品の安定供給に向けた原材料の調達および仕入単価の高騰
・現預金	5,479	3,315	△2,163	△2,205	
・棚卸資産	12,856	16,794	+3,937	+3,792	
・受取勘定他	9,249	9,321	+72	△271	
固定資産	67,478	67,918	+440	△219	
・有形固定資産（立木除く）	35,674	36,298	+623	△314	
・立木	19,551	19,692	+141	+469	
・無形固定資産	853	855	+2	+2	
・投資その他の資産	11,398	11,071	△326	△377	
資産合計	95,062	97,350	+2,287	+1,095	
流動負債	22,312	22,518	+205	△486	←増加運転資金の調達
・有利子負債	10,465	11,547	+1,081	+814	
・支払勘定他	11,847	10,971	△875	△1,300	
固定負債	28,560	30,003	+1,442	+1,176	←増加運転資金の調達
・有利子負債	23,174	25,050	+1,876	+1,569	
・その他	5,386	4,952	△433	△393	
(*有利子負債合計)	(33,639)	(36,597)	(+2,957)	(+2,383)	
負債合計	50,873	52,521	+1,648	+689	
・株主資本合計	36,281	36,381	+100	+164	
・その他包括利益累計額合計	6,722	7,219	+496	+198	
・新株予約権	144	121	△23	△23	
・非支配株主持分	1,039	1,106	+66	+66	
純資産合計	44,188	44,828	+639	+405	
負債純資産合計	95,062	97,350	+2,287	+1,095	

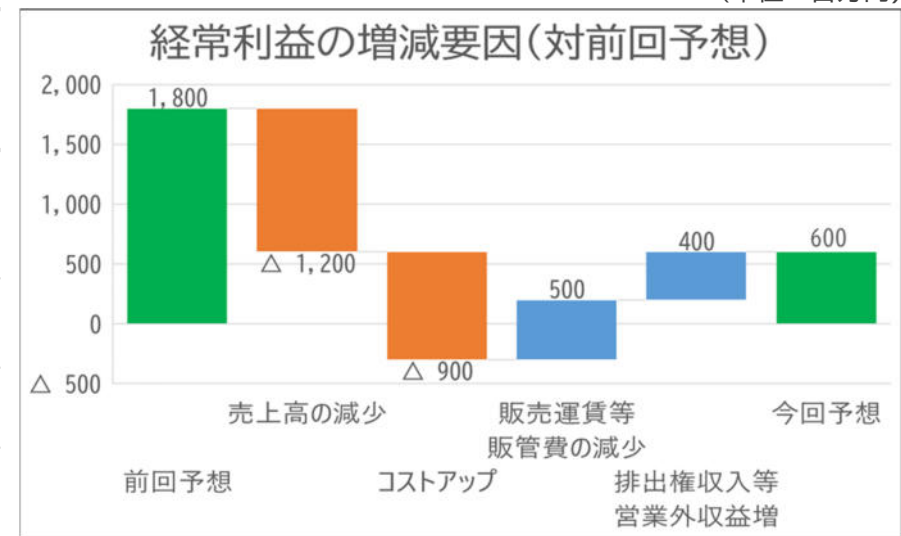
5. 2023年3月期の業績予想・配当予想

- 業績予想・配当予想につきましては、住宅価格上昇の影響などから着工戸数が低迷する中、第3四半期の売上高が計画を大きく下回り、第4四半期についても引き続き計画を下回る見通しとなりました。また、原材料や副資材、電力費、燃料費、物流運賃等、さまざまなコストの上昇も続いており、特に第3四半期以降、利益率も計画を大きく下回っていることから、業績予想を修正いたしました。
- 今回の業績予想の修正に伴う、期末の配当予想の変更はございません。

(単位：百万円)

[業績予想:連結]	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 前回予想	2023年 3月期 今回予想	前回予想比
売上高	66,582	70,000	66,200	△3,800
営業利益	2,351	2,200	600	△1,600
経常利益	2,147	1,800	600	△1,200
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,308	1,100	300	△800

(単位：百万円)



(単位：円)

[配当予想]	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
年間	24.00	24.00
配当性向	17.1%	74.7%